

(議案第1号関係)

令和元年度
事業報告書

平成31年 4月 1日から
令和 2年 3月31日まで

第 1 一 般 会 務

1. 会 員

(1) 正 会 員 27 団 体

ア. 寄 託 会 員 19 団 体

北海道。ホクレン農業協同組合連合会。北海道農業共済組合連合会。一般社団法人ジェネテイクス北海道。十勝管内家畜自衛防疫推進協議会。空知地区家畜自衛防疫推進協議会。上川地区家畜自衛防疫連絡協議会。石狩地区家畜自衛防疫推進協議会。釧路地区家畜自衛防疫連絡協議会。日高家畜衛生防疫推進協議会。後志家畜自衛防疫推進協議会。留萌地区家畜畜産物自衛防疫推進協議会。根室家畜伝染病自衛防疫推進協議会。胆振家畜自衛防疫推進協議会。オホーツク家畜自衛防疫推進協議会。公益社団法人北海道獣医師会。檜山地区家畜自衛防疫推進協議会。渡島地区家畜伝染病自衛防疫推進協議会。宗谷地区家畜自衛防疫推進協議会。

イ. 会 費 会 員 8 団 体

北海道農業協同組合中央会。一般社団法人北海道酪農畜産協会。北海道ホルスタイン農業協同組合。北海道町村会。北海道乳質改善協議会。一般社団法人北海道酪農協会。北海道養鶏会議。一般社団法人ばんえい競馬馬主協会。

(2) 賛 助 会 員 9 団 体

北海道信用農業協同組合連合会。雪印メグミルク株式会社。日高軽種馬農業協同組合。株式会社明治。よつ葉乳業株式会社。北海道動物器薬協会。北海道乳業株式会社。胆振軽種馬農業協同組合。一般社団法人北海道養豚生産者協会。

2. 役 員 の 異 動

第47回通常総会及び第2回理事会で役員の辞任に伴う役員の補欠選任が行われ、次の方々が就任された。(敬称略)

役 職 名	氏 名	所 属 団 体	備 考
副会長	福 士 正 二 郎	ホクレン農業協同組合連合会	辞任
副会長	丹 羽 篤 司	ホクレン農業協同組合連合会	就任
監事	林 亮 年	北海道農業協同組合中央会	辞任
監事	熊 谷 知 之	北海道農業協同組合中央会	就任

3. 通常総会の開催

第47回通常総会を令和元年5月31日に札幌市西区二十四軒4条5丁目の北海道獣医師会館で開催、議案及び決議事項は次のとおり。

- (1) 平成30年度事業及び決算の承認について
- (2) 平成31年度事業計画、収支予算の報告について
- (3) 平成31年度会費の賦課額と徴収方法の決定について
- (4) 平成31年度役員報酬の承認について
- (5) 平成31年度借入金の最高限度額の承認について
- (6) 役員の前欠専任について

4. 理事会の開催

第1回理事会 令和元年5月13日 北海道獣医師会館

- (1) 第47回通常総会について
- (2) 第47回通常総会提案内容の承認について
- (3) 職務執行状況の報告について
- (4) その他

第2回理事会 令和元年5月31日 北海道獣医師会館

- (1) 副会長の選定について
- (2) 平成31年度役員報酬執行案の承認について
- (3) 平成30年度事業報告書提出の承認について
- (4) その他

第3回理事会 令和元年12月10日 北海道獣医師会館

- (1) 令和元年度上半期財務状況の報告について
- (2) 令和元年度各事業の進捗状況の報告について
- (3) 寄託金の運用状況の報告について
- (4) 職務執行状況の報告について
- (5) 給与規程の一部改正、就業規則の一部改正について
- (6) その他

第4回理事会(書面決議) 令和2年3月18日 北海道獣医師会館

- (1) 令和2年度事業計画案の承認について
- (2) 令和2年度発生予防事業対価案の承認について
- (3) 令和2年度収支予算案の承認について
- (4) 第48回通常総会の開催案の承認について
- (5) 重要な職員の任用について
- (6) その他

6. 寄 託 金

金 66,800,000 円 (334口) 一口 200,000 円

寄 託 会 員 名	口 数	寄 託 額
北 海 道	125 口	25,000 千円
ホクレン農業協同組合連合会	150	30,000
北海道農業共済組合連合会	25	5,000
一般社団法人ジェネティクス北海道	10	2,000
十勝管内家畜自衛防疫推進協議会	1	200
上川地区家畜自衛防疫連絡協議会	1	200
空知地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
石狩地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
釧路地区家畜自衛防疫連絡協議会	1	200
日高家畜衛生防疫推進協議会	1	200
後志家畜自衛防疫推進協議会	1	200
留萌地区家畜畜産物自衛防疫推進協議会	1	200
根室家畜伝染病自衛防疫推進協議会	1	200
胆振家畜自衛防疫推進協議会	1	200
オホーツク家畜自衛防疫推進協議会	1	200
公益社団法人北海道獣医師会	10	2,000
檜山地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
渡島地区家畜伝染病自衛防疫推進協議会	1	200
宗谷地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
計 (19団体)	334	66,800

7. 会 費

金 570,000 円

会 費 会 員	会 費 額	賛 助 会 員	会 費 額
北海道農業協同組合中央会	千円 50	北海道信用農業協同組合連合会	千円 100
一般社団法人北海道酪農畜産協会	60	雪印メグミルク株式会社	30
北海道ホルスタイン農業協同組合	50	日高軽種馬農業協同組合	50
北海道町村会	20	株式会社 明治	30
北海道乳質改善協議会	20	よつ葉乳業株式会社	30
一般社団法人北海道酪農協会	10	北海道動物器業協会	30
北海道養鶏会議	10	北海道乳業株式会社	20
一般社団法人ばんえい競馬馬主協会	20	胆振軽種馬農業協同組合	20
		一般社団法人北海道養豚生産者協会	20
計 (8団体)	240	計 (9団体)	330

第 2 事業実施成績

1. 発生予防事業(公益目的事業、収益事業等)

次頁のとおり下記事業による予防接種を実施。

(1) 補助事業発生予防事業(農林水産省 家畜生産農場衛生対策事業:公益目的事業)

ア. アカバネ病

(2) 特定疾病発生予防事業(北海道衛指協事業:公益目的事業)

ア. 牛5種混合(生)(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

イ. 牛5種混合(不)(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス)

ウ. 牛6種混合(生)(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

エ. 牛6種混合(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

オ. 牛嫌気性菌3種と上記のアからエのいずれかとの同時接種

カ. 牛嫌気性菌5種と上記のアからエのいずれかとの同時接種

キ. 牛嫌気性菌3種

ク. 牛嫌気性菌5種

ケ. 牛下痢5種混合(不)

コ. ニューカッスル病(生)

サ. ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎混合

シ. 馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)

ス. 日本脳炎(馬)

セ. 馬インフルエンザ

ソ. 破傷風(馬)

タ. 馬鼻肺炎(生、不)

チ. 豚丹毒(生、不)

ツ. 豚流行性下痢(PED)

テ. 豚伝染性胃腸炎(TGE)・豚流行性下痢混合

(3) 育成馬等予防接種推進事業(中央畜産会助成事業:収益事業等)

ア. 馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)

イ. 日本脳炎(馬)

ウ. 馬インフルエンザ(競走馬)

(4) 馬インフルエンザ等自衛防疫推進事業(中央畜産会助成事業:収益事業等)

ア. 馬インフルエンザ(農用馬、乗用馬等)

イ. 馬鼻肺炎(妊娠馬)

令和元年度 発生子防事業実績集計表

(単位:頭、羽)

疾 病 名	計 画 (A)	実 績 (B)	計 画 比 (B/A)
豚 丹 毒	109,000	123,587	113.4
豚伝染性胃腸炎(TGE)・ 豚流行性下痢(PED)混合	0	2	
ニューカッスル病	121,000	90,000	74.4
牛伝染性鼻気管炎	590,000	575,082	97.5
牛嫌気性菌3種・5種	91,000	99,390	109.2
アカバネ病	6,300	5,861	93.0
牛下痢5種混合	37,000	37,923	102.5
馬3種混合	25,800	27,187	105.4
日本脳炎(馬)	4,600	4,359	94.8
馬インフルエンザ	12,200	12,502	102.5
馬鼻肺炎(生)	14,700	15,441	105.0
馬鼻肺炎(不)	1,000	228	22.8
馬破傷風	0	0	
合 計	1,012,600	991,562	97.9

(地区別内訳は別紙1)

2. 令和元年度 検査推進事業（農林水産省補助事業：公益目的事業）

(1) 家畜生産農場衛生対策事業

ア. 疾病清浄化支援対策

(ア) 牛疾病防疫支援対策

○ ヨーネ病自主検査

移動牛等を対象に、自主検査(血清反応・培養検査)を関係機関の協力により実施。

・自主検査 乳用牛 2,560頭 肉用牛 20,620頭 合計 23,180頭

(内訳は表①のとおり)

○ ヨーネ病発生農場における自主とう汰

ヨーネ病発生農場飼養牛の自主的などう汰を関係機関の協力により実施。

乳用牛 127頭 肉用牛 36頭 合計 163頭 (内訳は表①のとおり)

○ 牛白血病の検査、自主とう汰

牛白血病発生農場や公共牧場の検査及びハイリスク牛の自主とう汰や吸血昆虫駆除対策を関係機関の協力により実施。

・発生農場の検査 5農場 322頭

・ハイリスク牛の自主とう汰 4農場 8頭

・公共牧場の検査 1牧場 138頭

・公共牧場の吸血昆虫対策 8牧場

○ 牛ウイルス性下痢・粘膜病(BVD-MD)対策

BVD-MD発生農場等の検査、持続感染牛の自主淘汰などを関係機関の協力により実施。

・発生農場の検査 15農場 85頭

・持続感染牛の自主淘汰 94農場 129頭 (内訳は表②のとおり)

(イ) 豚疾病防疫支援対策

種豚生産農場のオーエスキー病抗体検査、証明書の発行などを関係機関の協力により実施。

・抗体検査、証明書の発行 3農場 40頭

(ウ) 地域慢性疾病清浄化支援対策

牛マイコプラズマ乳房炎の清浄化のため、関係者が一体となった取り組みなどに助成を実施。

・実施団体 JAオホーツクはまなす

・検討会の開催 4回開催

・農場の検査 105農場 バルク乳 1,787件、個乳 5,186件、同定検査 432件

・感染牛の自主とう汰 2農場 2頭

イ. 農場飼養衛生管理強化対策

農場の飼養衛生管理向上のため、農場が支払った獣医師指導経費に助成。

・指導実施農場 216農場 (乳用牛:168農場、肉用牛:40農場、乳肉複合:8農場)

ウ. 疾病発生・流行防止支援対策

・アカバネ病ワクチン接種 5,861頭 (詳細は、発生予防事業成績(別紙1)のとおり)

(表①)

コ－ネ病自主検査並びに自主とう汰実施頭数(令和元年度)

事業 支部	自主検査頭数									自主とう汰頭数				備考		
	血 清				細 菌 培 養				合 計		戸数	乳用牛 頭数	肉用牛 頭数		頭数 合計	
	乳用牛		肉用牛		乳用牛		肉用牛		戸数	頭数						
	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数								
石 狩			175	459					175	459	2	2		2		
道南(渡島)	3	148	304	687					307	835	1	2		2		
道南(桧山)			322	636					322	636				0		
後 志			129	346					129	346				0		
空 知	3	11	293	825					296	836				0		
上 川	30	326	357	957					387	1,283	1	1		1		
留 萌			120	269					120	269	1	1	1	2		
宗 谷			105	208					105	208	5	8	4	12		
網 走	19	392	917	2,224	2	2			938	2,618	7	5	5	10		
胆 振	7	23	852	2,219				8	10	867	2,252	1		3	3	
日 高	12	114	1,098	2,635					1,110	2,749	3		3	3		
十 勝	24	228	1,991	6,722					2,015	6,950	40	58	13	71		
釧 路	140	221	303	1,809					443	2,030	8	7	4	11		
根 室	187	1,095	288	614					475	1,709	25	43	3	46		
合 計	425	2,558	7,254	20,610	2	2	8	10	7,689	23,180	94	127	36	163		

註 1 自主検査及び自主とう汰の戸数は延べ戸数である。

(表②)

牛ウイルス性下痢・粘膜病検査、予防接種、自主とう汰実施頭数(令和元年度)

事業 支部	検査頭数						予防接種頭数				自主とう汰頭数				備考
	血清				合計		戸数	乳用牛 頭数	肉用牛 頭数	頭数 合計	戸数	乳用牛 頭数	肉用牛 頭数	頭数 合計	
	乳用牛		肉用牛		戸数	頭数									
	戸数	頭数	戸数	頭数											
石 狩					0	0				0	1	1		1	
道南(渡島)					0	0				0	2	6	1	7	
道南(桧山)					0	0				0				0	
後 志					0	0				0				0	
空 知					0	0				0				0	
上 川	2	11			2	11				0	4	4		4	
留 萌					0	0				0	10	17		17	
宗 谷					0	0				0	14	20		20	
網 走					0	0				0	14	16	1	17	
胆 振					0	0				0	2	1	2	3	
日 高			13	74	13	74				0				0	
十 勝					0	0				0	30	17	22	39	
釧 路					0	0				0	17	19	2	21	
根 室					0	0				0				0	
合 計	2	11	13	74	15	85	0	0	0	0	94	101	28	129	

註 1 自主検査及び自主とう汰の戸数は延べ戸数である。

(2) 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業(牛疾病検査円滑化推進対策事業)

ア. 事業実施頭数

事業対象死亡牛頭数	左のうち		備考
	BSE検査頭数	検査除外頭数	
11,452 頭	11,352 頭	100 頭	全頭陰性

イ. 死亡牛適正処理推進協議会の開催

開催時期	開催場所	協議内容	参加人員	備考
令和元年11月14日	札幌市	1. 情勢報告 2. 平成30年度事業の実績 3. 令和元年度事業計画・進捗状況	15名	

3. 令和元年度 中央畜産会等助成事業（収益事業等）

(1) 馬飼養衛生管理特別対策事業

ア. 馬飼養管理技術講習会、馬臨床に係る現地検討会の開催

馬関係獣医師の技術並びに馬飼養者の自衛防疫意識の向上を図るため講習会、検討会を開催。

開催時期	開催場所	講師	講習内容	参加人員
令和元年10月25日	苫小牧市	麻布大学獣医学部 山田 一孝 氏 ほか4名	馬の最新画像診断	81名
令和元年11月14日	新ひだか町	NOSAIみなみ日高支所 佐藤 正人 氏	馬の眼科診療 一般検査～角膜外科	60名

イ. 地域馬獣医療実態調査

調査時期	調査地域	調査対象	調査内容
令和元年10～11月	石狩、渡島、檜山 胆振、日高、後志 空知管内	馬飼養農家 475戸 (軽種馬を除く)	衛生管理基準の遵守状況、馬伝染性 疾病発生予防対策のアンケート調査

(2) 育成馬等予防接種推進事業

競走馬の馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)、日本脳炎、馬インフルエンザ予防接種に助成。

馬3種混合 24,858頭 日本脳炎 2,575頭 馬インフルエンザ 10,886頭

(3) 馬インフルエンザ等自衛防疫推進事業

ア. 馬鼻肺炎予防接種

妊娠馬の馬鼻肺炎ワクチン接種に助成。 (生) 14,676頭 (不活化) 201頭

イ. 馬インフルエンザ予防接種

馬インフルエンザの清浄化の確認と維持を図るため、乗用馬・農用馬等の予防接種に助成。

区分 \ 用途別	実施頭数			合計
	農用馬	乗用馬	その他関連馬	
馬インフルエンザワクチン接種	65	365	46	476

ウ. 地域馬伝染性疾病防疫推進検討会の開催

馬伝染性疾病の防疫強化を図るため、令和元年10月と令和2年2月に開催。

(4) 組織強化対策事業

ア 地域自衛防疫活動の強化並びに農場HACCP認証の普及推進(家畜防疫・衛生指導対策事業)

地域における自衛防疫活動の強化を図るため、推進会議の開催、生産者段階での防疫演習の実施、牛マイコプラズマ乳房炎の検査等の助成、牛白血病発生農場の検査、自主とう汰、入きゅう予定馬の馬伝染性貧血検査などに助成。

農場HACCP認証を普及するため、普及推進のための検討会の開催、農場への啓発活動、農場HACCPシステムの構築指導を実施。

項目	内容
地域自衛防疫推進会議	令和元年8月及び令和2年3月に札幌市で開催
生産段階での防疫演習	家畜保健衛生所と連携し、滝川市、小平町、登別市、七飯町、北見市、旭川市、江差町、江別市、八雲町、北斗市、置戸町、津別町で開催（計12回）
牛マイコプラズマ乳房炎対策	十勝管内搾乳農場(1,226農場)の採材費、検査料に助成
牛白血病清浄化支援	せたな町(乳用牛)、当別町(肉用牛)、月形町(肉用牛)の3農場(発生農場)の採材、検査、自主とう汰、吸血昆虫対策に助成
馬伝染性貧血自衛検査	入きゅう予定馬の馬伝染性貧血検査のための採材料、検査料などに助成(助成頭数:2,470頭)
農場HACCP普及推進協議会の開催	令和元年9月に酪農学園大学で、生産者、畜産関係者、農場HACCP関係者を参集し、開催(178名参加)
農場HACCP地域啓発活動	令和元年6月及び令和2年3月に農場HACCP審査員を参集し、検討会を開催
農場HACCPシステム構築指導	乳用牛2農場(芽室町、釧路市)、肉用牛3農場(長沼町、新ひだか町、大樹町)、豚2農場(平取町、帯広市)で実施

(5) 家畜防疫互助基金支援事業

令和元年度家畜防疫互助事業生産者積立金額（既存基金）

（単位：戸、頭、円）

区分	家畜の種類		契約戸数	契約頭数	生産者積立金	
乳用牛・肉用牛	1 乳用牛					
	(1) 乳牛(24か月齢以上)		2,634	237,505	55,813,675	
	(2) 乳牛(24か月齢未満)		2,651	155,770	14,798,150	
	2 肉用牛					
	(1) 肉専用種繁殖雌牛(24か月齢以上)		872	35,095	7,896,375	
	(2) 肉専用種繁殖雌牛(24か月齢未満)及び肉専用種肥育牛		878	60,270	6,629,700	
	(3) 肉専用種と乳用種の交雑種肥育牛		178	104,525	10,975,125	
	(4) 乳用種肥育牛		128	125,191	11,893,145	
	計		3,509	718,356	108,006,170	
豚	企業型	(1) 繁殖用種豚(雌)	31	17,930	2,241,250	
		(2) 繁殖用種豚(雄)	31	590	73,750	
		(3) 肥育豚	32	184,760	6,466,600	
		小計		32	203,280	8,781,600
	家族型	(1) 繁殖用種豚(雌)	35	20,985	2,518,200	
		(2) 繁殖用種豚(雄)	35	530	63,600	
		(3) 肥育豚	35	201,017	6,030,510	
		小計		36	222,532	8,612,310
		計		68	425,812	17,393,910
	合計			3,577	1,144,168	125,400,080

令和元年度家畜防疫互助事業生産者積立金額（豚追加基金）

（単位：戸、頭、円）

区分	家畜の種類		契約戸数	契約頭数	生産者積立金	
豚	企業型	(1) 繁殖用種豚(雌)	28	16,925	6,346,875	
		(2) 繁殖用種豚(雄)	28	517	193,875	
		(3) 肥育豚	29	175,195	18,395,475	
		小計		29	192,637	24,936,225
	家族型	(1) 繁殖用種豚(雌)	31	20,390	7,340,400	
		(2) 繁殖用種豚(雄)	31	495	178,200	
		(3) 肥育豚	31	195,196	17,567,640	
		小計		32	216,081	25,086,240
		計		61	408,718	50,022,465
	合計			61	408,718	50,022,465

4. 家畜自衛防疫の推進強化を図る事業

(1) 広報誌等の発行(自衛防疫強化総合対策事業、家畜衛生対策事業)

発行年月	発行部数	標題	発行者	配布先
令和元年7月	250部	予防注射事業の事務処理要領	道衛指協	衛指協支部、各自衛防疫組合
令和2年1月	1,500部	流産時の対応マニュアル(増刷)	道衛指協	日高家畜保健衛生所

(2) 家畜衛生技術普及講習会(講習会事業)

ア. 家畜衛生技術普及講習会(技術者向け)

区分	開催月日	場所	講師	講習内容	参加者
空知支部	5月29日	岩見沢市	(公社)北海道家畜産物衛生指導協会 専務理事	衛生指導協会活動の概要	21名
本部	6月10日	札幌市	北海道大学 喜田 宏氏	インフルエンザの予防と治療の今	72名
上川支部	7月17日	旭川市	北海道大学 迫田 義博氏	26年ぶりの豚コレラ発生とその対策、そして アフリカ豚コレラの侵入に備えて	61名
日高支部	9月6日	新ひだか町	JRA競走馬総合研究所 松村 富夫氏ほか	馬鼻肺炎生ワクチンセミナー	86名
留萌支部	9月25日	幌延町	酪農学園大学 臼井 優氏	獣医療における薬剤耐性問題の実態 とその対策	20名
本部	11月5日	札幌市	北海道大学 迫田 義博氏	豚コレラについて	96名
本部	11月7日・8日	札幌市	農林水産省消費・安全局動物衛生課 伴 光氏ほか	家畜伝染病等危機管理対策強化講習	50名
釧路支部	2月13日	釧路市	東亜薬品工業株式会社 朽木 晃氏	生菌製剤と子牛育成	53名
合計	8回				459名

イ. 家畜衛生技術普及講習会(農家向け)

区分 支部	牛		豚		鶏		馬		放牧衛生		衛生全般		計	
	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員
空知	1	31											1	31
上川	2	82	3	153									5	235
宗谷	22	214											22	214
胆振			1	18	1	77							2	95
十勝	8	61											8	61
合計	33	388	4	171	1	77	0	0	0	0	0	0	38	636

5. 家畜衛生関係団体への協力

鶏病研究会北海道支部、北海道オーエスキー病侵入防止対策協議会、北海道牛削蹄師会、北海道海外悪性伝染病防疫対策協議会(経理担当)の事業推進に協力。